

転入・転出者向けアンケート実施結果

転入者・転出者向け区民アンケート実施の概要

○ 実施方法

・転入・転出の手続きで区役所又は区民事務所（駅前事務所、分室含む）に訪れた区民に対し協力を依頼

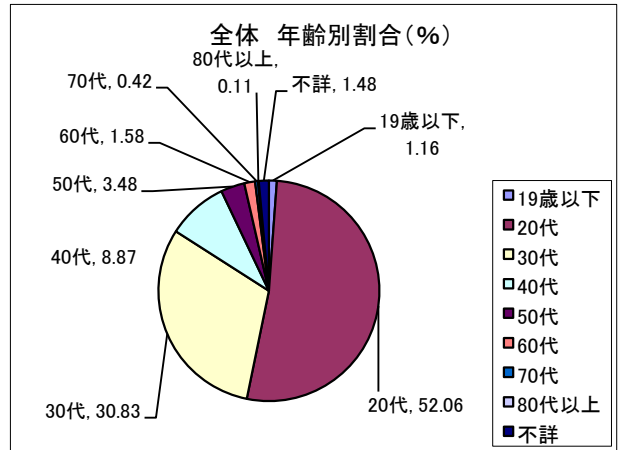
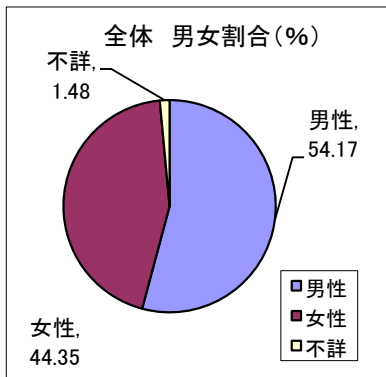
○ 実施期間

平成23年2月14日から2月27日（区役所は17日から）

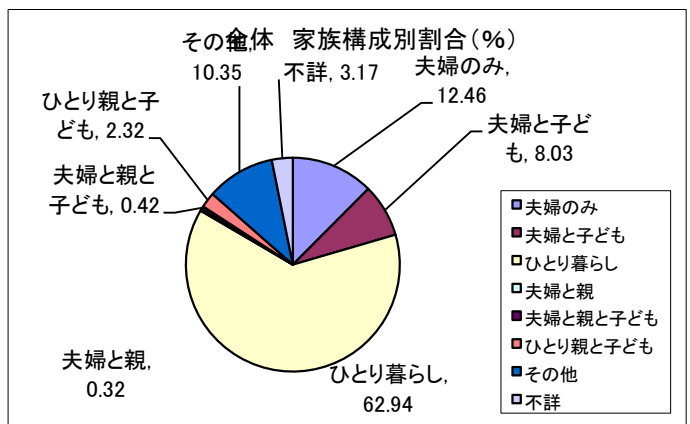
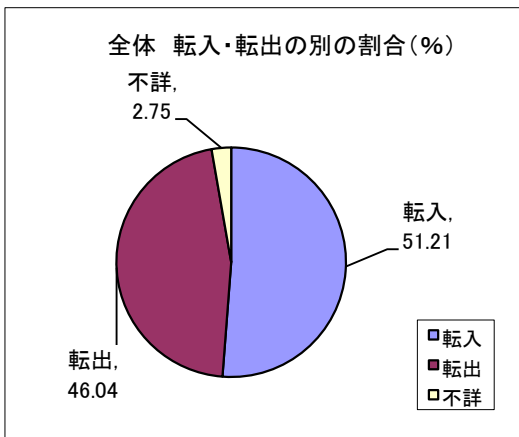
回収数内訳

区役所	区民事務所	合計
667	280	947

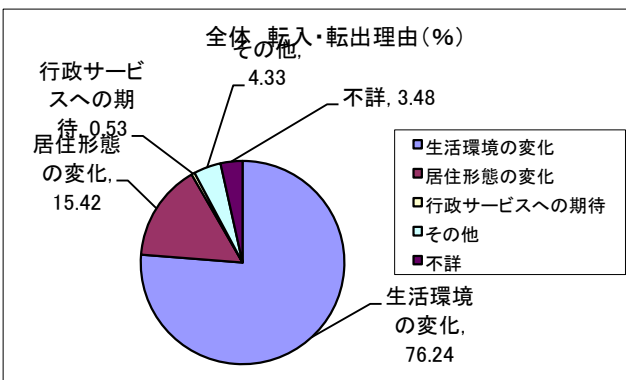
回収数は全体の約40%



○ 30代以下で約8割、40代以下で9割以上だった。



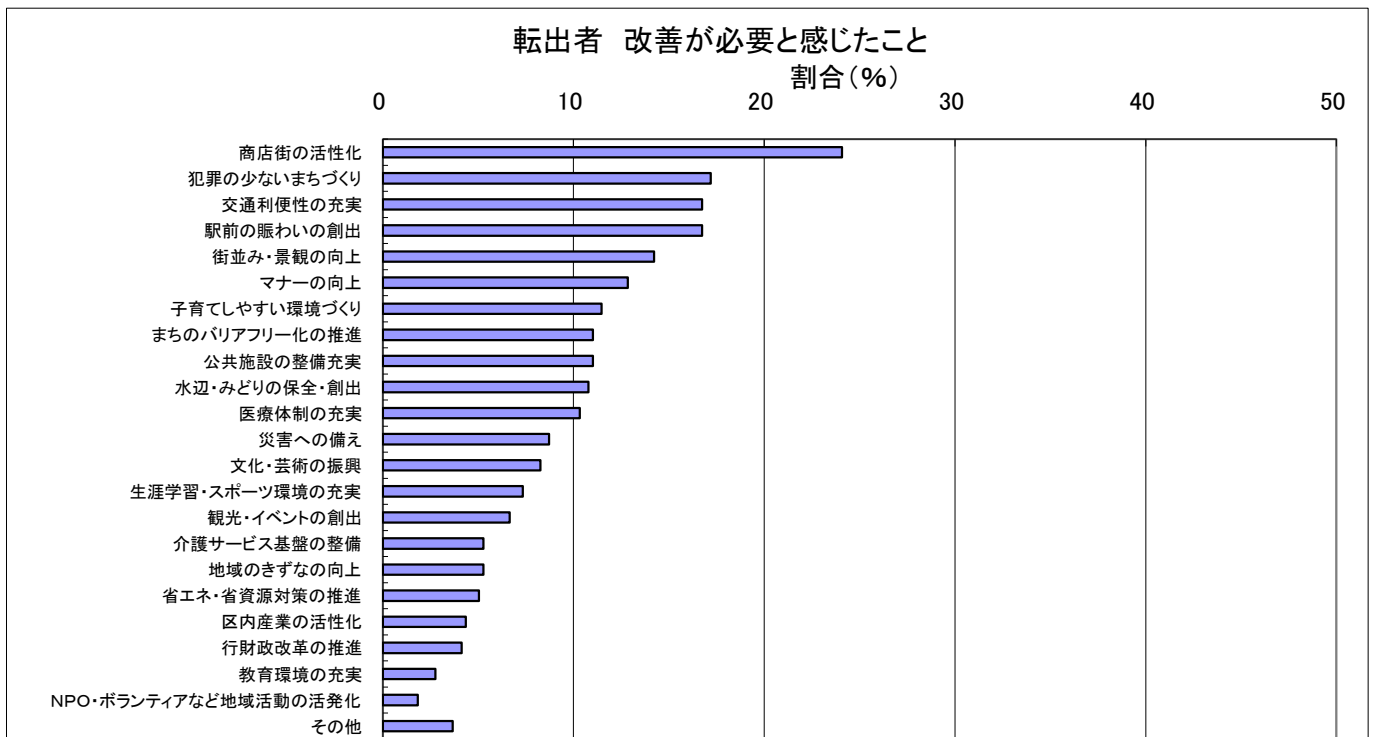
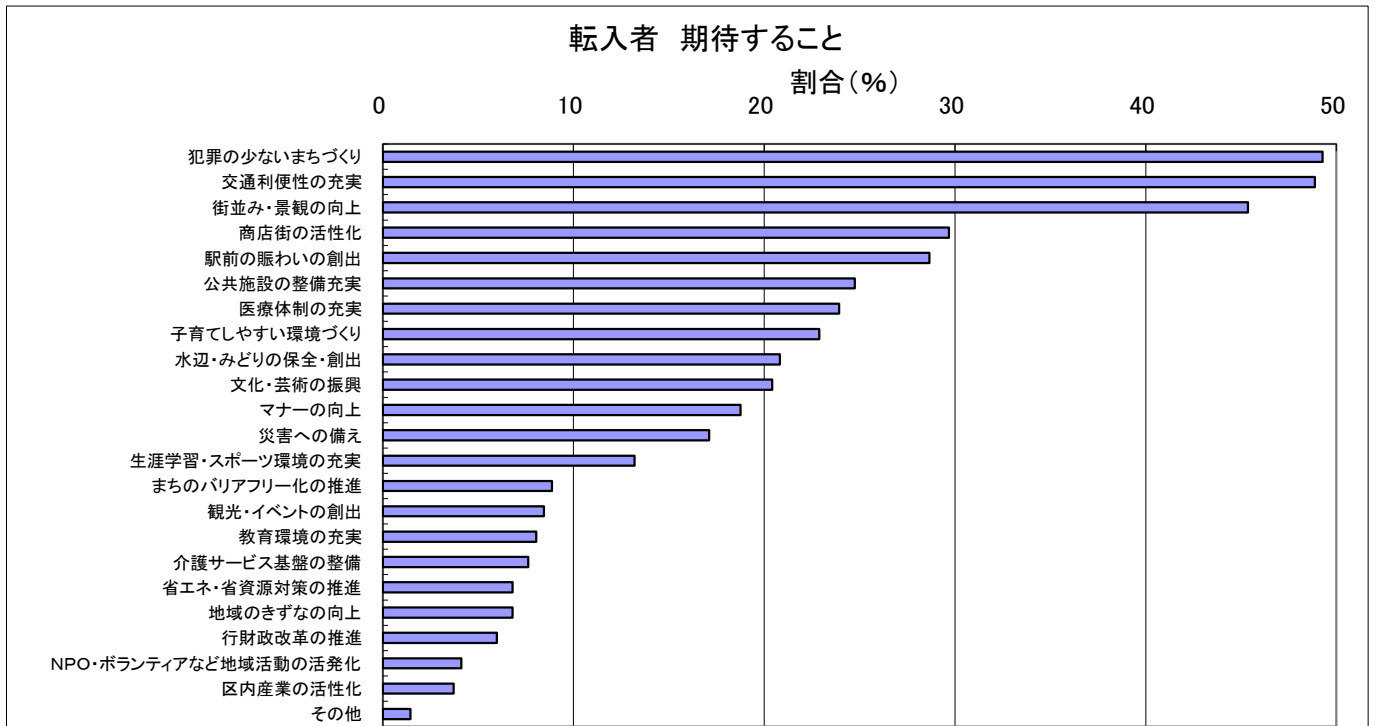
○ アンケート回答者は転入者のほうが若干多かった。



※ 生活環境の変化の例: 結婚、出産、進学、就職、転職、転勤など
 ※ 居住形態の変化の例: 住居の購入など

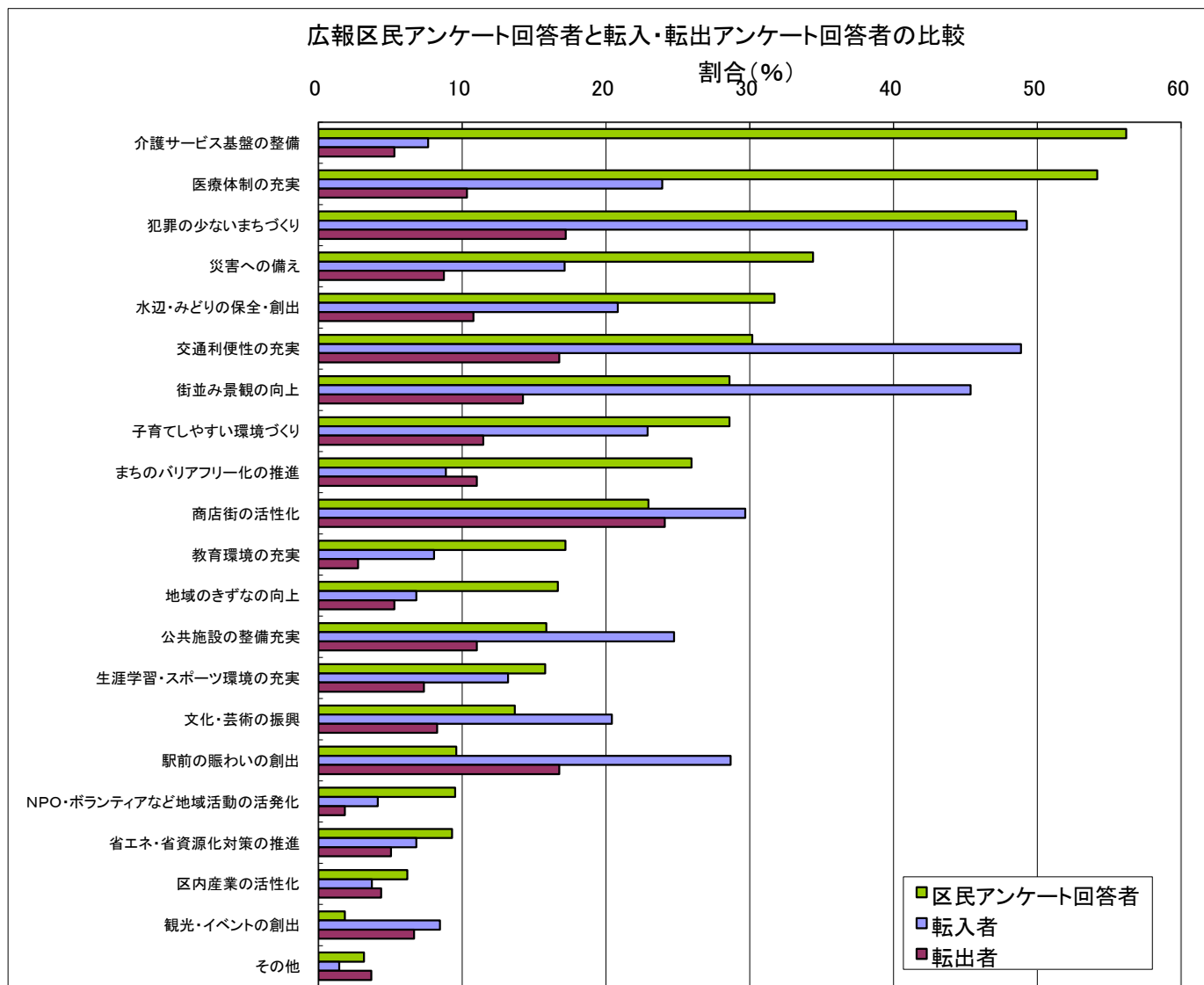
○ 家族構成及び転入・転出理由は、転入・転出ごとに分類しても大きな差は見られなかった。

問2 転入者が杉並区に期待すること、転出者が杉並区でさらに改善が必要と感じたこと(5つまで複数回答)



- 転出者の項目選択数が転入者と比較して少ない(平均 転入:4.3個、転出:2.2個)。
- 転入者・転出者共にハードに関連する項目の選択割合が高くなっている。
- 上位5位までに入った項目は同様であった。
- 転出者の1位「商店街の活性化」は他の項目と比較して突出している。
- 転入者・転出者間で回答選択数が異なるものの、全体的な傾向に大きな差は見らない。

広報区民アンケートと今回のアンケートの比較



- 区民アンケート回答者は日常生活に直結する施策に関わる「介護サービス基盤の整備」「医療体制の充実」などの項目で選択する割合が高くなっている。
- 「犯罪の少ないまちづくり」については全分類で割合が高くなっている。
- 転入・転出者アンケート回答者は、「交通利便性の充実」や「街並み・景観の向上」などハードに関連する項目について選択する割合が高い。
- 同様に「駅前の賑わいの創出」「商店街の活性化」「文化・芸術の振興」「観光・イベントの創出」などまちを活性化する項目について選択する割合が高い。
- ハードに関連する項目を選択した割合は、転入者でより高くなっている。
- まちを活性化する項目についても同様に転入者で選択した割合がより高くなっている。

杉並区に対する印象(アンケート自由意見欄より)

転入者(意見記入者86人)

プラス意見	43.0%
・住みやすい印象をもっている	16
・街に良い印象を持っている	10
・区役所の対応が良かった	4
・緑が多い印象	4
・子育てしやすい印象	3

マイナス意見	18.6%
・駅前を活発にしてほしい	4
・緑を増やしてほしい	3
・自転車を利用しやすいようにしてほしい (駐輪場整備、専用道路整備など)	3
・待機児童を解消してほしい	3
・南北交通が不便 (バスの拡充など)	3

転出者(意見記入者121人)

プラス意見	81.8%
・とても良かった、暮らしやすかった	74
・行政サービスが良かった (窓口、施策、仕事ぶり)	13
・また住みたい、転出しなくなかった	12

マイナス意見	9.9%
・行政への不満等	5
・南北交通の充実についての意見 (バスへのご意見含む)	3
・高齢者施策について (子育て施策と比較して不十分)	3
・住みずらかった	1